

平成28年度ごみ処理実績表

1 平成28年度ごみ処理実績表

人口・世帯数比較表（対前年度比）

	平成28年度	平成27年度	増減	対前年度比
人 口（人）	596,505	593,485	3,020	100.5%
世 帯 数（世帯）	276,461	272,472	3,989	101.5%

※各年度3月31日現在

ごみ発生量比較表（対前年度比）

	平成28年度(t)	平成27年度(t)	増減(t)	対前年度比
排 出 量	185,062	188,023	-2,961	98.4%
排出量（集団資源回収を除く）	171,432	173,693	-2,261	98.7%
一 般 ご み	146,451	147,970	-1,519	99.0%
粗 大 ご み	5,923	5,723	200	103.5%
資 源 物	18,978	19,911	-933	95.3%
びん	3,711	3,846	-135	96.5%
飲料かん	1,403	1,430	-27	98.1%
金属類	1,353	1,403	-50	96.4%
ペットボトル	1,968	1,963	5	100.3%
繊維類	1,829	1,952	-123	93.7%
紙類	5,374	5,877	-503	91.4%
プラスチック製容器包装	3,340	3,440	-100	97.1%
乾 電 池	69	77	-8	89.6%
有害ごみ（蛍光管）	11	12	-1	91.7%
集 団 資 源 回 収	13,630	14,330	-700	95.1%
災 害 廃 棄 物	0	0	0	—

家庭系・事業系別排出量比較表（対前年度比）

	平成28年度(t)	平成27年度(t)	増減(t)	対前年度比
家庭系	125,376	126,816	-1,440	98.9%
一 般 ご み	100,469	101,172	-703	99.3%
粗 大 ご み	5,878	5,679	199	103.5%
資 源 物	18,949	19,876	-927	95.3%
乾 電 池	69	77	-8	89.6%
有害ごみ（蛍光管等）	11	12	-1	91.7%
事業系	46,056	46,877	-821	98.2%
一 般 ご み	45,982	46,798	-816	98.3%
粗 大 ご み	45	44	1	102.3%
資 源 物	29	35	-6	82.9%

中間処理量比較表（対前年度比）

	平成28年度(t)	平成27年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼 却 処 理	152,693	154,211	-1,518	99.0%
破 砕 処 理	4,495	4,293	202	104.7%
資 源 化 処 理	18,983	19,915	-932	95.3%

最終処分量比較表（対前年度比）

	平成28年度(t)	平成27年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却残渣	7,424	7,370	54	100.7%
資源化物	28,931	29,673	-742	97.5%
処理困難物	113	112	1	100.9%

※ 平成34年度を目標年度とする最終処分量（焼却残渣物）の目標は4,800 t

資源化物比較表（対前年度比）

	平成28年度(t)	平成27年度(t)	増減(t)	対前年度比
資源化物	28,931	29,673	-742	97.5%
焼却残渣金属	656	655	1	100.2%
未酸化鉄	791	772	19	102.5%
未酸化アルミ	79	67	12	117.9%
溶融スラグ	7,979	8,011	-32	99.6%
焼却残渣物（セメント資源・路盤材資源）	800	798	2	100.3%
再生粗大ごみ	10	9	1	111.1%
破碎前金属	177	185	-8	95.7%
破碎後金属	760	754	6	100.8%
破碎前アルミ屑	29	29	0	100.0%
破碎後アルミ屑	21	22	-1	95.5%
びん	3,615	3,768	-153	95.9%
飲料かん	1,137	1,144	-7	99.4%
金属類	1,095	1,150	-55	95.2%
繊維類	1,414	1,373	41	103.0%
ペットボトル	1,653	1,614	39	102.4%
紙類	5,247	5,727	-480	91.6%
プラスチック製容器包装	2,957	3,068	-111	96.4%
特定家庭用機器	9	14	-5	64.3%
小型家電	422	424	-2	99.5%
乾電池	69	76	-7	90.8%
二次電池	0	1	-1	—
蛍光灯	11	12	-1	91.7%

1人・1世帯あたり排出量比較表（対前年度比）

	平成28年度(g)	平成27年度(g)	増減(g)	対前年度比
1人1日あたり	850	866	-16	98.2%
1世帯1日あたり	1,834	1,885	-51	97.3%

※ 1人（1世帯）1日あたり排出量＝排出量÷年度末人口（世帯）÷365日（平成27年度は366日）

※ 平成34年度を目標年度とする市民1人1日あたりのごみ排出量目標は844 g

資源化率及びリサイクル率比較表（対前年度比）

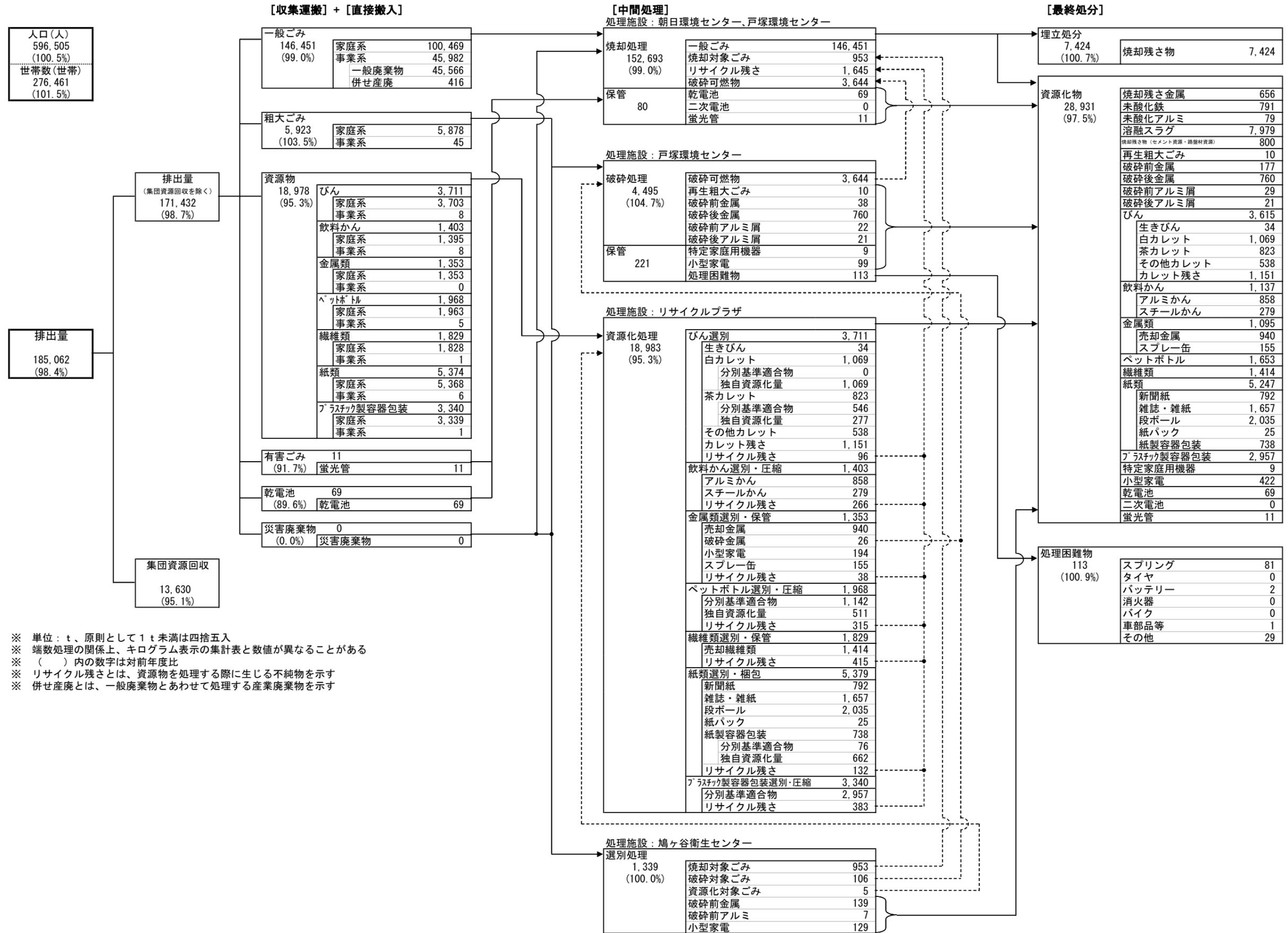
	平成28年度(g)	平成27年度(g)	増減(%)	対前年度比
資源化率(%)	16.9%	17.1%	-0.2	98.8%
リサイクル率(%)	23.0%	23.4%	-0.4	98.3%

※ 資源化率(%)＝資源化物÷排出量（集団資源回収を除く）×100

※ リサイクル率(%)＝（資源化物＋集団資源回収）÷排出量×100

※ 平成34年度を目標年度とするリサイクル率の目標は35.0%

2 平成28年度ごみ処理実績フローシート



※ 単位：t、原則として1t未満は四捨五入
 ※ 端数処理の関係上、キログラム表示の集計表と数値が異なることがある
 ※ () 内の数字は対前年度比
 ※ リサイクル残さとは、資源物を処理する際に生じる不純物を示す
 ※ 併せ産廃とは、一般廃棄物とあわせて処理する産業廃棄物を示す

3 廃棄物の排出状況について

(1) 排出量の推移

「排出量」とは、市が収集したごみの量、市のごみ処理施設に直接搬入されたごみの量、および集団資源回収で資源化された紙類・繊維類の量の合計であり、本市の一般廃棄物の総量（併せて処理する産業廃棄物を含む）である。

平成28年度は、対前年度比2,961t(1.6%)減少した。

図1 排出量の推移

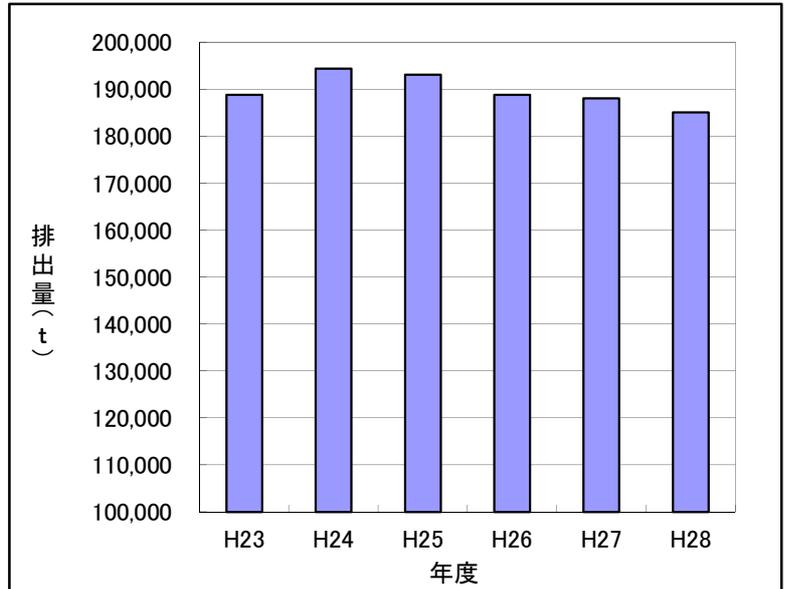


表1 排出量の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
排 出 量	188,772	194,338	193,109	188,817	188,023	185,062
	-	102.9%	99.4%	97.8%	99.6%	98.4%

【下段は、対前年度比率】

※23年度29 t、24年度2 t、25年度2 t、26年度1 tの災害廃棄物を含む。

(2) 排出量（集団資源回収量除く）の推移

「排出量（集団資源回収量除く）」とは、排出量から集団資源回収量を除いた量である。

平成28年度は、対前年度2,261 t(1.3%)減少した。

図2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

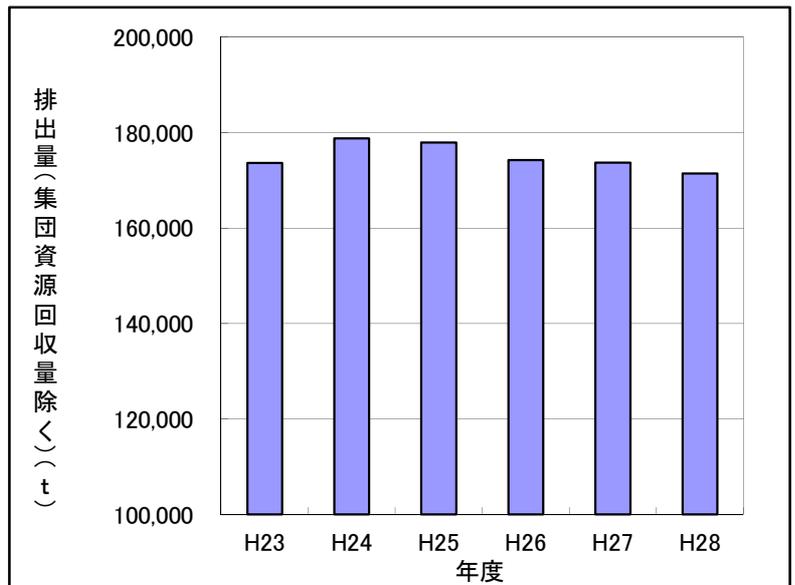


表2 排出量（集団資源回収量除く）の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
排 出 量 (集団資源回収量除く)	173,672	178,769	177,900	174,236	173,693	171,432
	-	102.9%	99.5%	97.9%	99.7%	98.7%

【下段は、対前年度比率】

※23年度29 t、24年度2 t、25年度2 t、26年度1 tの災害廃棄物を含む。

(3) 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

平成28年度の家庭系一般廃棄物排出量（集団資源回収量除く）は、対前年度比1,440 t（1.1%）減少した。

事業系一般廃棄物の排出量は、対前年度比821 t（1.8%）減少した。

図3 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

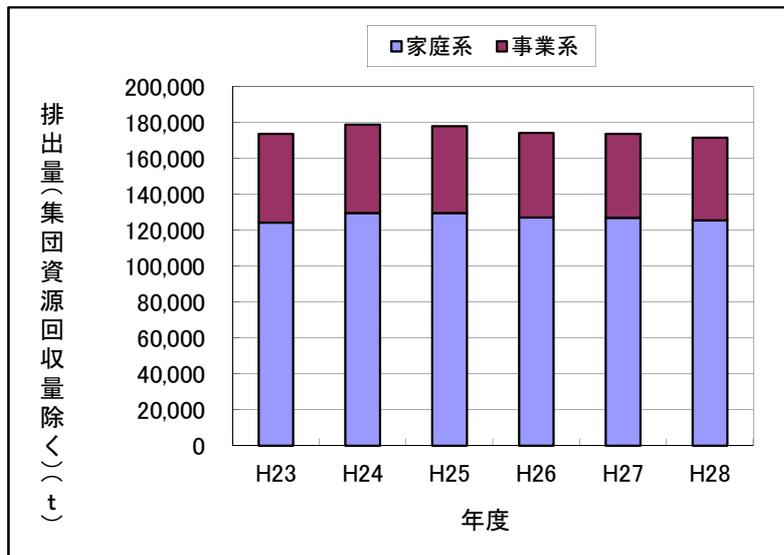


表3 家庭系・事業系別総排出量の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
家 庭 系	124,138	129,474	129,581	127,105	126,816	125,376
	-	104.3%	100.1%	98.1%	99.8%	98.9%
事 業 系	49,505	49,293	48,317	47,130	46,877	46,056
	-	99.6%	98.0%	97.5%	99.5%	98.2%

【下段は、対前年度比率】

※家庭系・事業系に災害廃棄物は含まない。

(4) 分別収集の推移

ア 一般ごみ

平成23・24年度は旧鳩ヶ谷市との合併により増加した。

平成28年度は、対前年度比1,519 t（1.0%）の減少となった。内訳は、家庭系が703 t（0.7%）減少、事業系が816 t（1.7%）の減少となっている。

図4 一般ごみの推移

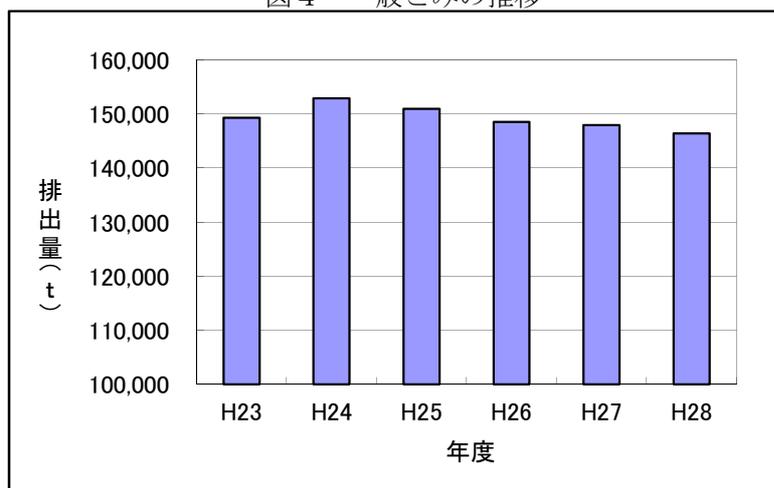


表4 一般ごみの推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
一 般 ご み	149,319	152,950	150,961	148,568	147,970	146,451
	-	102.4%	98.7%	98.4%	99.6%	99.0%

【下段は、対前年度比率】

※一般ごみに災害廃棄物は含まない。

イ 粗大ごみ

平成23・24年度は旧鳩ヶ谷市との合併により増加した。

また、平成25年度は大幅に増加しているが、これは、平成26年4月から、消費税率が改訂されたこと及び、特定品目の粗大ごみ処理料を有料化したための駆け込み排出によるものと考えられる。

平成28年度は、対前年度比200t(3.5%)増加した。内訳は、家庭系粗大ごみが199t(3.5%)増加、事業系粗大ごみが1t(2.3%)増加となっている。

図5 粗大ごみの推移

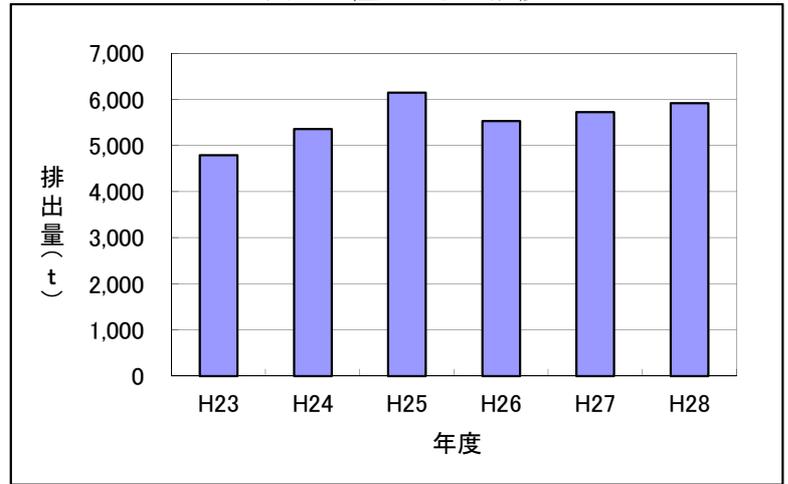


表5 粗大ごみの推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
粗 大 ご み	4,792	5,359	6,148	5,529	5,723	5,923
	-	111.8%	114.7%	89.9%	103.5%	103.5%

【下段は、対前年度比率】

※粗大ごみに災害廃棄物は含まない。

ウ 資源物

平成28年度は対前年比933t(4.7%)減少した。内訳は、家庭系資源物が927t(4.7%)減少、事業系資源物が6t(17.1%)減少となっている。

図6 資源物の推移

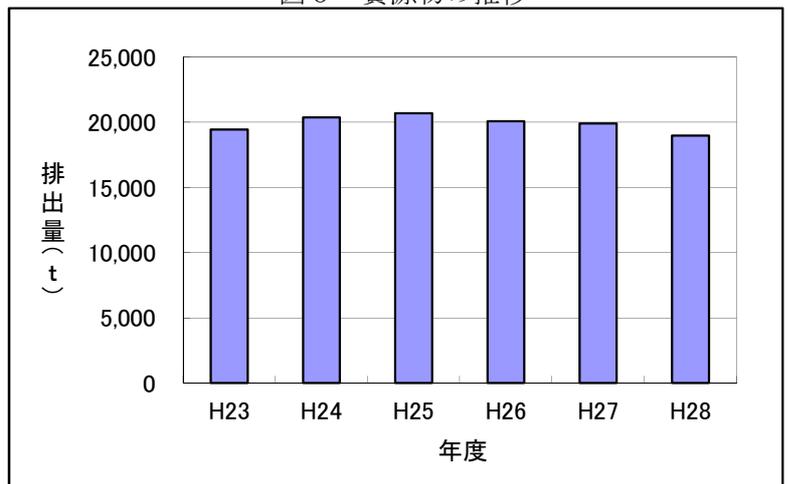


表6 資源物の推移

年 度	H23	H24	H25	H26	H27	H28
資 源 物	19,453	20,388	20,696	20,078	19,911	18,978
	-	104.8%	101.5%	97.0%	99.2%	95.3%

【下段は、対前年度比率】

※資源物に災害廃棄物は含まない。